

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和2年6月】

■調査概要（データ対象期間：令和2年6月1日～6月30日）

○調査期間：令和2年6月29日～令和2年7月20日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業24企業、製造業17企業、卸売業13企業、小売業25企業

飲食業15企業、サービス業41企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計135企業>

○調査項目：6月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※ $DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI、水準DIともにマイナス幅の縮小

1. 業況判断

○全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲60.8）よりマイナス幅が6.7ポイント縮小し、▲54.1となった。業種別では、小売業、飲食業、卸売業ではマイナス幅が縮小した。建設業、製造業、サービス業はマイナス幅が拡大した。

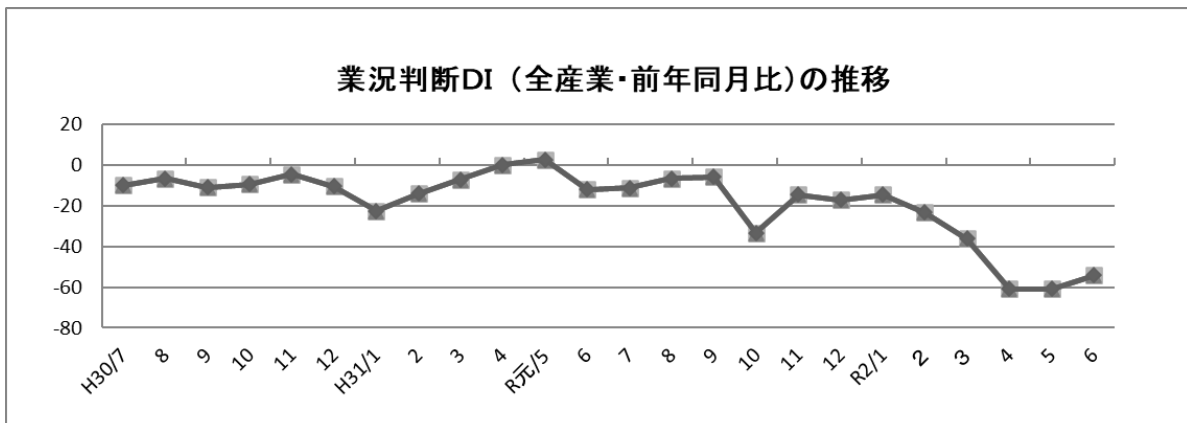
○全産業合計の水準DIは、前月（▲59.4）よりマイナス幅が5.4ポイント縮小し、▲54.0となった。業種別では、小売業、飲食業はマイナス幅が縮小した。建設業、卸売業、サービス業、製造業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	8.1 (5.1)	29.7 (29.0)	62.2 (65.9)	▲54.1 (▲60.8)	6.7 (2.9)	32.6 (34.8)	60.7 (62.3)	▲54.0 (▲59.4)
建設業	8.3 (4.5)	54.2 (72.8)	37.5 (22.7)	▲29.2 (▲18.2)	4.2 (0.0)	62.5 (77.3)	33.3 (22.7)	▲29.1 (▲22.7)
製造業	5.9 (5.0)	11.7 (20.0)	82.4 (75.0)	▲76.5 (▲70.0)	5.9 (0.0)	11.7 (25.0)	82.4 (75.0)	▲76.5 (▲75.0)
卸売業	0.0 (0.0)	38.5 (27.3)	61.5 (72.7)	▲61.5 (▲72.7)	0.0 (0.0)	30.8 (36.4)	69.2 (63.6)	▲69.2 (▲63.6)
小売業	28.0 (12.0)	16.0 (12.0)	56.0 (76.0)	▲28.0 (▲64.0)	24.0 (12.0)	20.0 (12.0)	56.0 (76.0)	▲32.0 (▲64.0)
飲食業	0.0 (0.0)	13.3 (0.0)	86.7 (100.0)	▲86.7 (▲100.0)	0.0 (0.0)	20.0 (6.2)	80.0 (93.8)	▲80.0 (▲93.8)
サービス業	2.4 (4.5)	34.2 (31.9)	63.4 (63.6)	▲61.0 (▲59.1)	2.4 (2.3)	36.6 (40.9)	61.0 (56.8)	▲58.6 (▲54.5)

()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計

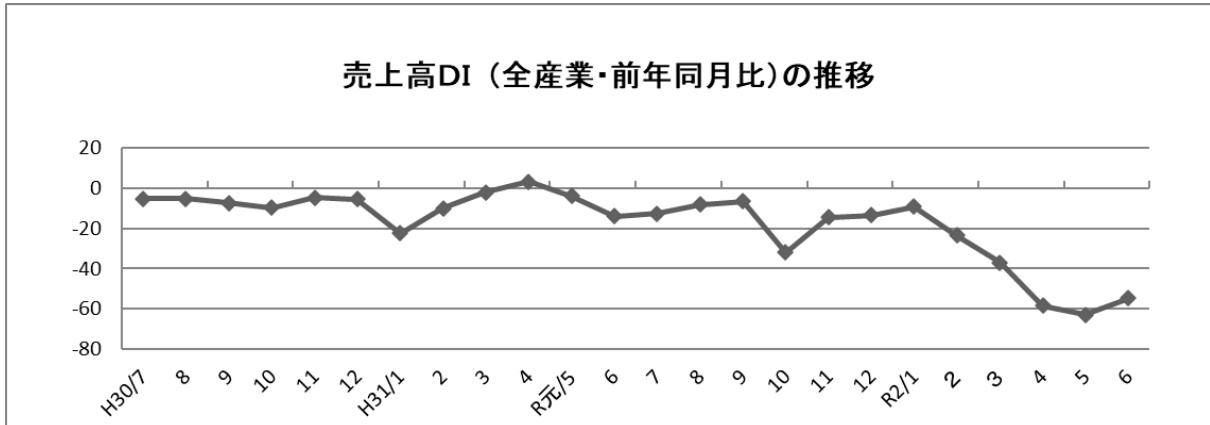


2. 売上高D I（前年同月比）

○全産業合計の売上高D Iは、前月（▲63.0）からマイナス幅が8.2ポイント縮小して▲54.8となった。業種別に見ると、小売業、卸売業、飲食業はマイナス幅が縮小し、建設業、サービス業、製造業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月売上高業種別DIの推移】

	元年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
全体	▲13.9	▲12.6	▲8.0	▲6.6	▲32.0	▲14.6	▲13.3	▲9.3	▲23.4	▲37.0	▲58.6	▲63.0	▲54.8
建設業	▲13.1	▲8.3	0.0	▲4.0	4.0	0.0	▲4.0	16.6	▲12.5	▲5.0	▲35.0	▲18.2	▲29.2
製造業	▲22.8	▲4.8	▲35.0	13.6	0.0	▲18.2	▲40.9	▲14.3	▲41.0	▲19.1	▲75.0	▲70.0	▲70.6
卸売業	▲15.4	▲40.0	▲50.0	▲41.7	▲64.3	▲50.0	▲38.5	▲30.8	▲28.6	▲81.8	▲63.6	▲72.7	▲53.8
小売業	▲20.7	▲25.8	6.7	13.3	▲39.3	▲21.9	▲6.7	▲23.4	▲25.0	▲46.1	▲50.0	▲72.0	▲32.0
飲食業	▲47.1	▲12.5	▲26.6	▲31.3	▲76.5	▲43.8	▲20.0	▲31.2	▲47.0	▲92.9	▲92.3	▲100.0	▲86.7
サービス業	6.4	▲4.2	4.0	▲12.8	▲34.1	4.6	0.0	2.2	▲8.9	▲25.5	▲56.8	▲61.4	▲65.9

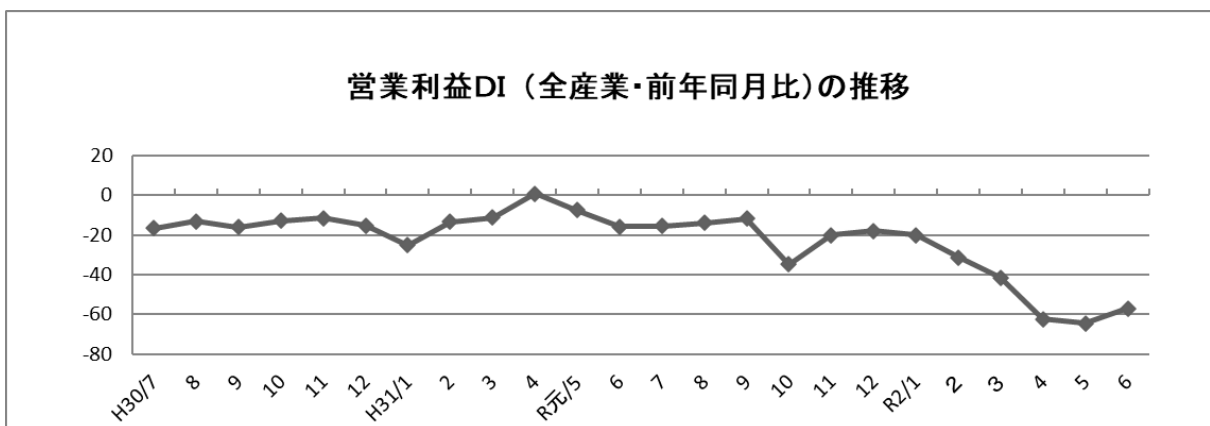


3. 営業利益D I（前年同月比）

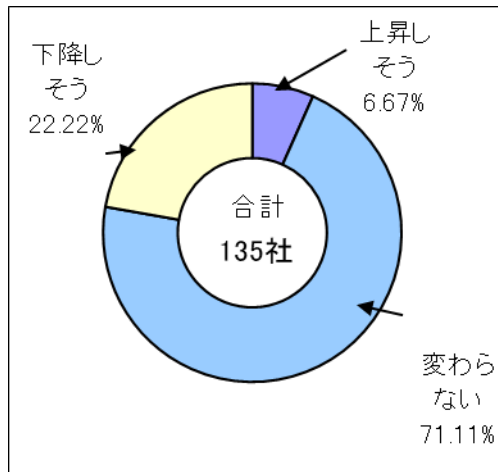
○全産業合計の営業利益D Iは、前月（▲64.5）よりマイナス幅が7.5ポイント縮小して、▲57.0となった。業種別に見ると、卸売業、小売業、飲食業はマイナス幅が縮小した。製造業、建設業、サービス業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月営業利益業種別DIの推移】

	元年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
全体	▲15.9	▲15.4	▲14.0	▲11.8	▲34.7	▲20.0	▲17.8	▲20.0	▲31.3	▲41.5	▲62.5	▲64.5	▲57.0
建設業	▲17.4	▲16.7	0.0	▲8.0	▲4.0	▲4.0	0.0	▲4.2	▲29.1	▲30.0	▲40.0	▲31.8	▲37.5
製造業	▲18.2	▲19.0	▲45.0	▲9.1	▲10.5	▲31.8	▲50.0	▲38.1	▲50.0	▲38.1	▲81.2	▲65.0	▲82.3
卸売業	▲15.4	▲10.0	▲40.0	▲16.6	▲50.0	▲25.0	▲23.1	▲30.8	▲42.9	▲54.5	▲72.7	▲90.9	▲53.8
小売業	▲27.6	▲22.6	▲10.0	10.0	▲46.4	▲28.1	▲16.7	▲36.7	▲35.7	▲46.2	▲54.2	▲68.0	▲32.0
飲食業	▲47.1	▲18.8	▲20.0	▲43.7	▲82.4	▲50.0	▲40.0	▲37.5	▲52.9	▲85.7	▲92.3	▲100.0	▲86.7
サービス業	4.3	▲8.3	▲4.0	▲17.1	▲31.9	▲4.6	▲4.4	0.0	▲8.9	▲27.9	▲59.1	▲59.1	▲63.5



◇ 向こう3カ月の見通し ◇

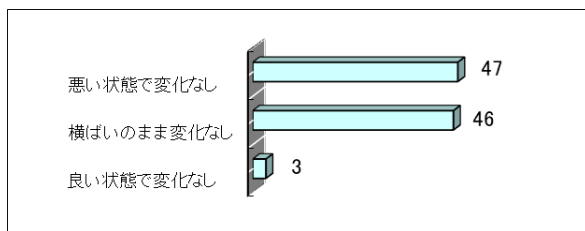


○令和2年7月～令和2年9月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ3.05ポイント増加し6.67%、「下降しそう」が6.04ポイント減少し22.22%となった。業種別の見通しDIは建設業(▲4.2)、製造業(▲35.3)、卸売業(▲7.7)、小売業(▲20.0)、飲食業(▲26.6)、サービス業(▲9.7)であった。

➡「上昇しそう」では「現場が動き出してきたため」「公共事業が発注されるため」「新しい工事受注が出だしたため」(建設業)「人の移動が許されたので、お客様の数が増えると予想されるため」(飲食業)「業績は今後少しずつ増えていくかもしれないため」「コロナ禍による失業者の増加で職業訓練受講希望者の増加が見込まれるため」「仕事ができてきたため」(サービス業)といった声が寄せられた。

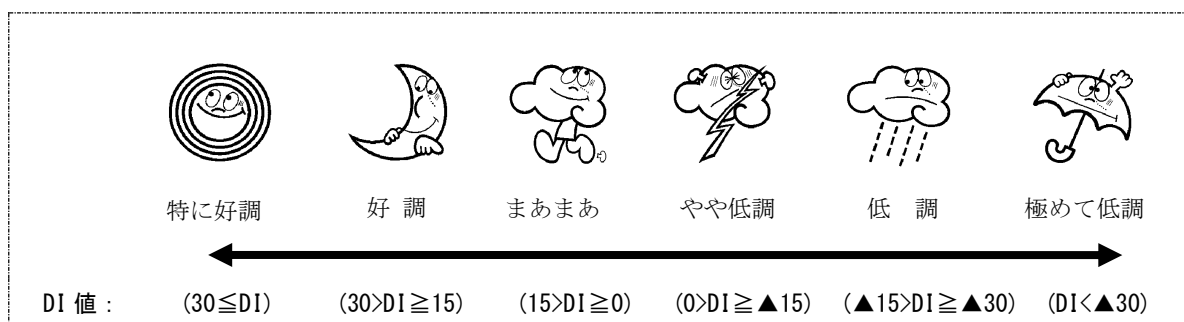
➡「変わらない」では「新型コロナウイルス感染症による移動制限緩和のため」(小売業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では「都内ほか感染者数増加傾向から、新型コロナウイルス感染症第2波が早まるリスクもあるため」「4月～6月の受注が悪く、売り上げは6月～8月は下がりそうのため」(製造業)「個人の作物収穫があるため」(卸売業)「セールが1ヶ月早くスタートして6月が前年より良く、今後は下降しそうのため」「不況感による消費の冷え込みの影響を受けそうのため」(小売業)「セイジ・オザワ松本フェスティバル等イベントの中止の影響のため」「様々な禁止事項が解除になるも相変わらず予約はないため」(飲食業)「一時的なリバウンドで売上が伸びたため」「7月から営業できるが、まだ大々的に旅行ができる雰囲気ではないため」「新型コロナウイルス感染症と災害対策で建築関係の仕事が埋没してしまったため」(サービス業)「新型コロナウイルス感染症の影響が続くため(同意見13件)」といった声が寄せられた。



業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	元年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	▲13.1	▲8.3	0.0	▲4.0	4.0	0.0	▲4.0	16.6	▲12.5	▲5.0	▲35.0	▲18.2	▲29.2
受注量	0.0	▲12.5	4.0	4.0	20.0	4.0	▲4.0	0.0	▲16.7	▲25.0	▲55.0	▲36.4	▲29.2
受注単価	▲8.7	0.0	4.0	▲4.0	0.0	▲4.0	▲4.0	0.0	▲8.3	▲5.0	▲15.0	▲18.2	▲20.8
営業利益	▲17.4	▲16.7	0.0	▲8.0	▲4.0	▲4.0	0.0	▲4.2	▲29.1	▲30.0	▲40.0	▲31.8	▲37.5
見通し	4.3	8.4	▲4.0	▲4.0	4.0	0.0	▲8.0	4.2	▲12.5	▲5.0	▲25.0	▲13.7	▲4.2

<経営者の目・見方・etc>

建築工事

・プレミアム商品券による経済の活性化を期待している。

建設業

・技術者及び技能者が不足していると感じる。

・小規模事業者の倒産は数件みられるが全体的に受注量も多く堅調に推移している。

土木工事

・テレワークが進み大都市圏の企業に勤務するのに、大都市に住む必要が無くなった人達が一定数存在する。この人たちを積極的に松本市に呼び込み、定住人口を増やすことを商工会議所でも考えてもらいたい。

鉄工

・経済活動が落ち込むことで、個人消費がさらに落ち込みそう。

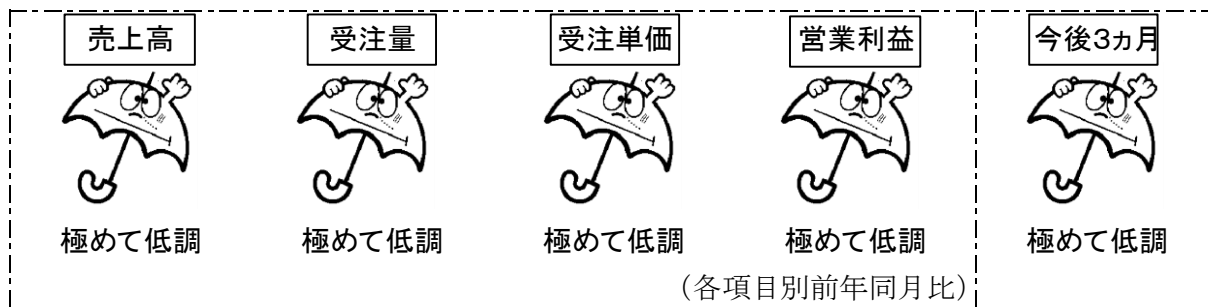
管工事

・公共工事の仕事は出ているが受注できるのが大型店のみで、格差が増々広がっている。公共事業は地元の中小企業が受注できるように考えてもらいたい。

電気工事

・新築の一戸建ての工事が減少している。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	元年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	▲ 22.8	▲ 4.8	▲ 35.0	13.6	0.0	▲ 18.2	▲ 40.9	▲ 14.3	▲ 41.0	▲ 19.1	▲ 75.0	▲ 70.0	▲ 70.6
受注量	▲ 9.1	▲ 4.8	▲ 10.0	4.5	▲ 10.5	▲ 22.8	▲ 27.3	▲ 19.0	▲ 41.0	▲ 33.3	▲ 75.0	▲ 75.0	▲ 70.6
受注単価	▲ 9.1	▲ 4.8	▲ 10.0	▲ 18.2	▲ 15.8	▲ 22.7	▲ 13.6	▲ 14.2	▲ 9.1	▲ 4.7	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 35.3
営業利益	▲ 18.2	▲ 19.0	▲ 45.0	▲ 9.1	▲ 10.5	▲ 31.8	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 81.2	▲ 65.0	▲ 82.3
見通し	0.0	▲ 9.5	▲ 20.0	▲ 18.2	▲ 15.8	▲ 27.3	▲ 4.5	4.8	▲ 22.8	▲ 38.1	▲ 31.3	▲ 30.0	▲ 35.3

<経営者の目・見方・e t c>

印刷

- ・新型コロナウイルス感染症に関連して、高齢者経営の同業で廃業の兆候が見られた。やはり感染と重症化リスクは、経営者の事業継承にも今後一層影響を及ぼすことになるとと思われる。自粛期間がひと段落したことにより、仕事の受発注は増加傾向だが、それでも大きなイベント、会議、行事等の中止・期日未定の延期により、全体的な回復には程遠い印象。県外ネット印刷への発注も、どこを經由して来る製品か不明なので、接触感染リスクを下げるという意味では地元回帰する可能性も考えられる。ウイルス生存期間の情報を根拠とすれば不安要素となる。

精密機器

- ・製造業では全般的に、6月以降は新型コロナウイルス感染症の影響が大きくなっている。7月、8月も回復の兆しが見えないので、慎重に対応する必要があるそう。

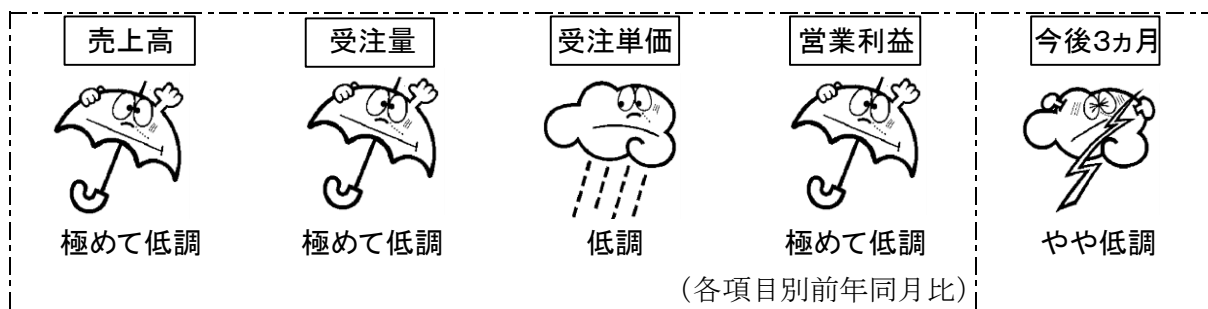
小型情報機器組立

- ・先が見えず製造関係はますます大変である。

金属塗装

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で輸出関連と車関連の親会社からの受注が激減している。

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	元年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	▲ 15.4	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 64.3	▲ 50.0	▲ 38.5	▲ 30.8	▲ 28.6	▲ 81.8	▲ 63.6	▲ 72.7	▲ 53.8
販売客数	▲ 15.4	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 16.7	▲ 28.6	▲ 16.7	▲ 15.4	▲ 15.4	▲ 28.6	▲ 54.5	▲ 45.5	▲ 54.5	▲ 30.8
販売客単価	▲ 7.7	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 35.7	▲ 8.4	7.7	▲ 23.1	▲ 7.1	▲ 54.5	▲ 45.5	▲ 27.3	▲ 15.4
営業利益	▲ 15.4	▲ 10.0	▲ 40.0	▲ 16.6	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 42.9	▲ 54.5	▲ 72.7	▲ 90.9	▲ 53.8
見通し	7.7	▲ 10.0	▲ 10.0	8.3	0.0	▲ 16.7	7.7	▲ 23.1	▲ 35.7	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 45.5	▲ 7.7

<経営者の目・見方・etc>

土産品

・先月同様、低迷が続いている。移動制限が緩和されたが、状況の変化がない。まだまだ土産品を買う気分になってないのか、先行きが心配である。

魚介類

・飲食店、観光関係の売り上げの落ち込みが痛手になっている。

青果

・青果物が全体的に単価高ということもあり、動きは比較的良好な方向であった。4月～5月は量販店が好調だったが、今は落ち着いた感じがする。業務用食材、給食用食材もいくらか上向いてきた様子である。

青果卸小売業

・輸入産物（ジャガイモ、人参等）の入荷不足により、国内産需要が高まり、値段が高騰している。野菜の高値が気になるが、これから地場産が穫れ始めるので、安定して来ると思う。

医薬品

・今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況を注視している。

金属製品

・秋口からは半導体、車載機器関連と復活の兆しがありそうだが、先行きを不安視している。建築関連は地元物件が薄い状態で、ホテルやテナントビル案件は今後物件の延期や中止の話もあり、不透明である。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	元年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	▲ 20.7	▲ 25.8	6.7	13.3	▲ 39.3	▲ 21.9	▲ 6.7	▲ 23.4	▲ 25.0	▲ 46.1	▲ 50.0	▲ 72.0	▲ 32.0
販売客数	▲ 31.1	▲ 35.5	0.0	0.0	▲ 42.9	▲ 25.0	▲ 13.3	▲ 6.7	▲ 35.7	▲ 61.5	▲ 62.5	▲ 68.0	▲ 44.0
販売客単価	▲ 20.7	▲ 6.5	3.4	3.3	▲ 35.8	▲ 15.6	10.0	▲ 16.7	3.6	▲ 26.9	▲ 25.0	▲ 28.0	▲ 12.0
営業利益	▲ 27.6	▲ 22.6	▲ 10.0	10.0	▲ 46.4	▲ 28.1	▲ 16.7	▲ 36.7	▲ 35.7	▲ 46.2	▲ 54.2	▲ 68.0	▲ 32.0
見通し	▲ 17.3	▲ 16.1	0.0	▲ 26.6	▲ 10.7	▲ 9.4	▲ 3.3	▲ 26.6	▲ 53.6	▲ 61.6	▲ 45.8	▲ 32.0	▲ 20.0

<経営者の目・見方・e t c>

- | | |
|-------------|---|
| 印章 | <ul style="list-style-type: none"> ・県を越えての移動の制限が解除されて以来、家族単位の観光客が増えているが観光バスは未だに来ていない。ポイント還元最終月のせい、キャッシュレス決済が昨年の4倍もあった。 |
| 印章・刃物研ぎ | <ul style="list-style-type: none"> ・押印の廃止を求める政府の会議が進行している。日本のハンコ文化が風前の灯となりつつある。 |
| 生鮮食品
和菓子 | <ul style="list-style-type: none"> ・今月は父の日、10万円の給付金の影響もあり、とても忙しかった。 ・人の移動はあるが、お土産物の動きが5月の頃とほとんど変わらず、悪かったと思う。 |
| 宝石 | <ul style="list-style-type: none"> ・6月は高額商品が売れたため、昨年よりも売り上げの数字がよくなった。 |
| 婦人服 | <ul style="list-style-type: none"> ・7月からスタートする予定だったセールを1ヶ月早くスタートして集客があった。ポイントアップの効果もあり、売り上げを伸ばすことができた。7～8月の売り上げは期待できないが、セール月の新規のお客様の来店があったので、次につなげていきたい。 |
| 薬局 | <ul style="list-style-type: none"> ・街中にあまり人がいない。 |
| スポーツ用品 | <ul style="list-style-type: none"> ・3～5月は過去最悪だったが、6月は昨年同月より回復した。しかし3ヶ月分の落ち込み分は取り戻せない。 |
| 住宅機器 | <ul style="list-style-type: none"> ・少しずつ新型コロナウイルス感染症の影響が出始めている。先行きが見通せない。 |
| 陶磁器 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民生活は大きな集まりや外食の回数が少ないくらいでほぼ正常化してきたが、街中の歩行者数は未だに厳冬期並みのままである。観光客がいなくなり、閑散とした様子に市民も不要不急な街歩きを遠慮して賑わいが戻らない悪循環が続いているのか。夏本番を前に観光には期待していたところだが、首都圏の感染が終息しないことには悩ましい。 |

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	元年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	▲ 47.1	▲ 12.5	▲ 26.6	▲ 31.3	▲ 76.5	▲ 43.8	▲ 20.0	▲ 31.2	▲ 47.0	▲ 92.9	▲ 92.3	▲ 100.0	▲ 86.7
販売客数	▲ 47.1	▲ 12.5	▲ 26.6	▲ 37.5	▲ 70.6	▲ 43.8	▲ 13.4	▲ 25.0	▲ 47.0	▲ 92.9	▲ 92.3	▲ 100.0	▲ 86.7
販売客単価	▲ 23.5	0.0	▲ 20.0	▲ 18.7	▲ 17.6	▲ 18.7	▲ 20.0	▲ 18.7	▲ 23.5	▲ 57.1	▲ 69.2	▲ 81.3	▲ 66.7
営業利益	▲ 47.1	▲ 18.8	▲ 20.0	▲ 43.7	▲ 82.4	▲ 50.0	▲ 40.0	▲ 37.5	▲ 52.9	▲ 85.7	▲ 92.3	▲ 100.0	▲ 86.7
見通し	11.7	0.0	▲ 13.3	▲ 12.5	▲ 5.9	▲ 6.2	▲ 13.3	▲ 6.3	▲ 47.1	▲ 71.4	▲ 46.2	▲ 18.7	▲ 26.6

<経営者の目・見方・etc>

料理

- ・6月中旬より宴席、グループでの御会食等の動きが出始め、徐々に増加傾向がみられ安堵している。県外客も来店が増えてきたが、新型コロナウイルス感染症対策により注意が必要と感じる。
- ・営業は先月に引き続き、良くならず、仕入れも少ない。全体的にお金が動かず景気が益々悪くなり、大変な時代になったと感じる。
- ・県を越える人の移動制限が緩和されて、土日の観光のお客様が戻ったと思ったら、東京の感染者が増え、7月が心配。店をオープンしても、客足が戻らず、人員の配置に苦勞する。雇用調整とのバランスを崩すと、店側の出費が一気に拡大する。

創作料理

- ・7月に入ったら開店の予定だったが取りやめて休業中。近所の飲食店も休業中。「7月に入ったら店をあけます」という口コミに期待して発信したが、相変わらず予約は皆無だった。この地域の中での商売だけに、まだまだ予約は入りそうにない。8月のお盆も仕出の予約は期待できない。5月の連休同様、帰省者がいつも通りとはならないと踏んでいる。祭りも中止が相次いでお手上げ状態である。

郷土料理

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で外出を控える方ばかりだったが、県をまたいだ移動制限が緩和された頃から少しではあるが他府県からのお客様もご来店するようになってきた。しかし、売り上げは以前とは程遠いのでまだまだ苦しい状況が続くそうである。

食堂

- ・宴会の予約がほとんど入ってこない。テイクアウトは増えたが、宴会分の売り上げの穴埋めにはならず、この先が不安である。
- ・規制が緩和され人出が多くなった。特に土日のイオンモール周辺は以前の賑わいが戻ってきた感じ。松本で新型コロナウイルス感染症患者がこれ以上でないことを願うのみである。

寿司

- ・やまびこ道路等でかなりの交通渋滞がみられた。人の移動が始まったと

居酒屋

ということだと思う。家族連れや少人数の宴会も先月よりは増えてきた。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響はまだまだ大きいと感じる。このまま終息してほしい。第2波が来ないことを祈るのみである。

・新型コロナウイルス感染症のため経営状況が悪化。経営困難な店舗が多く、閉店を考えているところもある。不況になっている。

洋風居酒屋

・徐々に客足が戻った様に見える。だが変わらず経営状態としては悪い。売り上げは昨年の3分の1程度で苦しい状況。新型コロナウイルス感染症第2波の懸念が大きい。

そば

・昼のお客様は、コロナ禍前のようにかなり戻ってきた感じがする。
・緊急事態宣言解除後の週末はお客様の動きがあったが、その後は戻りが悪い。夏から秋に向けても期待するのが難しい。

ラーメン

・当月は本当に微々であるがお客様が戻ってきた。当店としてはお弁当などに力を入れたが難しい経営状況になっている。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	元年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	6.4	▲4.2	4.0	▲12.8	▲34.1	4.6	0.0	2.2	▲8.9	▲25.5	▲56.8	▲61.4	▲65.9
販売客数	4.3	▲8.3	2.0	▲14.9	▲40.4	0.0	▲10.9	▲10.9	▲8.9	▲32.5	▲59.1	▲54.5	▲63.4
販売客単価	2.1	▲6.2	6.0	▲6.3	▲25.5	2.3	▲2.2	4.3	▲2.2	▲16.2	▲31.8	▲36.4	▲39.1
営業利益	4.3	▲8.3	▲4.0	▲17.1	▲31.9	▲4.6	▲4.4	0.0	▲8.9	▲27.9	▲59.1	▲59.1	▲63.5
見通し	6.4	▲2.1	▲12.0	▲14.8	▲2.1	▲7.0	▲10.8	▲4.4	▲40.0	▲44.2	▲34.1	▲20.5	▲9.7

<経営者の目・見方・etc>

自動車整備・

板金塗装

・全体的に人の移動が活発になってきた感じがする。大都市での感染者数が目立ち、これから地方に広がる恐れがあることが不安要素の一つである。

機械設計

・前年6月とほぼ同じ程度の売り上げで良かった。心配していた新型コロナウイルス感染症の影響はほとんどない状態で進んでいる。

タクシー

・人の動きが前月よりは幾分か増えてきたが、まだまだこの状況は続きそうである。

旅館

・6月より営業を再開したが、ガイドラインに沿って密を防ぐため収容も6割に抑えたため、例年より大きく売り上げが落ちた。

・新型コロナウイルス感染症が終息しない限り戦いは続く。

温泉旅館	<ul style="list-style-type: none"> ・かなり厳しい状況は変わらない。 ・松本市のイベントも新型コロナウイルス感染症の影響で中止になった。夏場の忙しい時節なのに、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて6月も予約のほとんどがキャンセルになってしまった。
観光旅館	<ul style="list-style-type: none"> ・5月に続いて、6月も営業をやめた。群発地震は収まってきたが、梅雨に入り、登山道や遊歩道の崩壊した箇所が、大雨でさらに崩れ、通行が不能になった箇所も多いためである。また、特に首都圏からのお客様が多い当山荘では、「東京からですが、行ってもいいですか?」という問い合わせも多く、未だ旅行に対するモチベーションは高まっていないと感じる。それでも、連休やお盆などは、少しずつ予約が入ってきている。今年は、収容人数を減らしてでも、頑張るしかない。
宿泊 ホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・雨による道路交通状態によるが、7月半ばの営業再開を目指している。 ・ディスカバー信州県民応援割を利用したお客様がお越しになってくれたが、売り上げは例年に遠く及ばない。
理容	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による影響、経済の停滞、消費の落ち込みが続いており、今後も不安定な展開が予想される。
美容	<ul style="list-style-type: none"> ・3~5月の売上の落ち込み分を6月に取り戻した感じがする。しかし来月からはまた不安な感じである。
測量・建設コンサル タント業	<ul style="list-style-type: none"> ・6月に入り仕事が出始めた。延期になっていた業務も再開し、動きが出てきた。熱中症にも気を付けなければならない季節になってきた。
ホームクリーニング・ リネンサプライ	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言解除により多少売り上げが上がったが、最近の東京での感染拡大により、再び下落することが想定される。
獣医	<ul style="list-style-type: none"> ・犬の新型コロナウイルス感染症はワクチンがあり、猫の新型コロナウイルス感染症の猫伝染性腹膜炎についてはワクチンができない。新型コロナウイルス感染症のワクチンが早急に使用されるよう期待したい。6月は例年より少し良い状態であった。
教育業	<ul style="list-style-type: none"> ・学校登校も通常に戻り、少しずつ新型コロナウイルス感染症拡大前の状況になりつつある。